

福井大学生涯学習市民開放プログラム

受講生募集要項

2025 年前期



格致によりて
人と社会の未来を拓く



国立大学法人

福井大学

－ はじめに －

福井大学共通教育部^{注1)}では、本学の授業を学生とともに受講する市民・社会人の方々を募集します。

これは、福井大学共通教育部が行う大学開放活動の一環で、市民の方々に授業を開放して生涯学習の機会を提供すること、及び社会人の方々が時代の変化に合わせて学び直すことができるリカレント教育の機会を提供することを目的とするとともに、地域社会と大学との連携をより一層深めようとするものです。

「生涯学習市民開放プログラム」として開放する授業の受講にあたっては、受講生として登録していただく必要があります。なお、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に十分に検討された上でご登録ください。

2020年度より教育学部・工学部・国際地域学部の専門教育科目の一部である「教養専門教育科目」^{注2)}が開放され、受講対象科目となりました。

以下の要項にしたがい、受講生として登録していただき、本学の学生・教職員とともにキャンパスライフをご体験ください。

注1)本学の共通教育など学部生に共通して必要な教育を実施するために本学のすべての教員で構成される組織です。

注2)本学で専門教育科目の一部を各専門の課程や学科に所属しない異分野の学生に開放している科目です。したがって、これらの科目の内容は専門的であり、受講に際しては「地域コア科目・教養教育科目」に比べ専門的な知識を必要としますので、シラバス等で授業内容をよくご確認ください。受講に関する質問等があれば、教務課 学務総務・共通教育担当へお問合せ願います。

I 実 施 形 態

【開放授業科目等】

- 1 「市民開放授業科目一覧」（８ページ）のとおりです。

【受講形態】

- 2 受講形態は２通りあります。

A) １科目単位で自由に受講できるフリーコース

関心のある科目を自由に選択し１科目から受講できるコースです。

B) テーマに沿った科目群を受講するプログラムコース

特定のテーマに沿って体系化された教育プログラムを選択し受講するコースです。複数の科目を効果的に受講することにより専門性を高めることができ、１～３年程度の長期的な期間にわたり受講していただけます。

各プログラムの修了要件（５科目以上の受講）を満たした場合は「プログラム修了証書」を発行いたします。

【募集定員】

- 3 各科目の募集定員は、「市民開放授業科目一覧」に記載のとおりです。なお、募集定員を超える応募があった場合は、抽選により受講生を決定いたします。

【開講期間及び授業時間】

- 4 前期の開講期間は、**２０２５年４月９日（水）から２０２５年７月２９日（火）（７月３０日～８月５日は期末試験期間）**までです。

各科目は基本的に１５回の授業＋１回の試験で構成されています。

「地域コア科目・教養教育科目」は月曜日２時限、火曜日１時限及び木曜日１時限の３箇所の時間帯開講しています。「教養専門教育科目」の授業時間は月曜日１時限から金曜日５時限の時間帯で開講されます。

なお、担当教員のやむを得ない事情等により、授業日時を変更する場合がありますので、ご了承ください。

授 業 時 間					
時 限	1	2	3	4	5
時 間	8 : 4 5 ～ 1 0 : 1 5	1 0 : 3 0 ～ 1 2 : 0 0	1 3 : 0 0 ～ 1 4 : 3 0	1 4 : 4 5 ～ 1 6 : 1 5	1 6 : 3 0 ～ 1 8 : 0 0

【単位認定等】

- 5 市民開放プログラムの受講生には、「単位認定」は行いませんが、希望者には受講完了時に「修了証書」を発行します。フリーコースの場合は科目ごとの修了証書、プログラムコースの場合はプログラム修了証書の発行となります。修了証書の発行を希望される場合は、４ページの【修了証書の交付】をご参照ください。

また、単位の認定（修得）を希望される方は「科目等履修生」と呼ばれる別制度に

したがって入学する必要があります。詳しくは教務課窓口にお尋ねください。

なお、期末試験については受験する必要はありませんが、受験を希望される場合は担当教員にお申し出ください。

Ⅱ 受 講 手 続

【受講希望調書の提出】

- 6 募集要項巻末の「受講希望調書」を3月5日（水）から3月18日（火）【必着】の期間内に郵送にて提出してください。募集定員を超える応募があった場合は、抽選により受講生を決定いたします。抽選の結果、受講できない場合にはその旨通知いたします。なお、次のフォームよりインターネットで申し込むことも可能です。

<https://forms.gle/ZHgbqunEYh7nUW2o8>



【受講希望調書の受理確認】

- 7 「受講希望調書」を受理後、「受講届」及び「ID 通知書」又は「仮受講証」を郵送いたします。

もし授業開始日の3日前までに書類が届かない場合は教務課にお問合せください。

「受講届」	試聴期間後の本申込み時にご提出いただきます。
「ID 通知書」	学習支援システムの利用時に使用します。 オンライン授業の受講時、及び対面授業においても授業に関する連絡事項を確認する際に使用します。
「仮受講証」	対面授業の受講希望者に送付します。 試聴期間中は「仮受講証」を身に付けて受講してください。

【受講の科目数】

- 8 受講できる科目数は、本学の定めに従い、「地域コア科目・教養教育科目」・「教養専門教育科目」合わせて6科目までとします。

【受講の試聴期間】

- 9 受講を希望する授業の概要を確認した上で、受講を決定していただくために以下のように試聴期間を設けます。この期間中に受講を決めた科目の「受講届」を提出してください。なお、試聴期間中に新たに受講科目を追加することは出来ません。

試聴期間： 2025年4月9日（水）～4月22日（火）

【受講科目の登録】

- 10 受講科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、4月16日（水）から4月22日（火）【必着】までに教務課に郵送又は持参にてご提出ください。

また、初めて受講される方は、「受講証」用の顔写真（4cm×3cm）1枚を、同封のうえご提出ください。なお、次のフォームよりインターネットで申し込むことも可能です。

<https://forms.gle/VvrDrxNiFP7UoZpEA>



【受講料の納付等】

- 11 前項 10 の受講科目の登録と併せて受講料を納付してください。納付期間は「受講届」の提出期間と同じ期間です。

受 講 料：1 授業科目 9, 4 0 0 円

納付方法：銀行振込のみ

お近くの ATM 等から下記口座へ振り込みください。

振込手数料は受講生負担となります。

金融機関：福井銀行 振込専用支店

口座種類：普通

口座番号：53999

口座名義：ダイワシティバンク

振込名義人を入力する際、授業番号と受講生本人の氏名をカタカナで入力してください。（例 1）

複数の授業分をまとめて振り込む際には、授業番号をハイフンで続けて入力してから受講生本人の氏名を入力してください。（例 2）

例 1（1 授業分の場合） 2 2 フクイハナコ

例 2（2 授業分の場合） 2 2－2 3 フクイハナコ

※教務課窓口での現金払いはお受けできません。

いったん納入された受講料は返還できませんので、あらかじめご了承ください。

なお、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。

【受講証の交付】

- 12 受講科目の登録及び受講料の納付を済まされた方には「受講証」を郵送いたします。

複数の授業科目を受講する場合でも受講証は 1 部のみの発行となります。「受講証」及び「ID 通知書」は受講科目の最後の授業終了後に持参または郵送にて返却をお願いします。（返却先は、次ページ末尾の「書類の提出先・問合せ先」をご参照ください）。

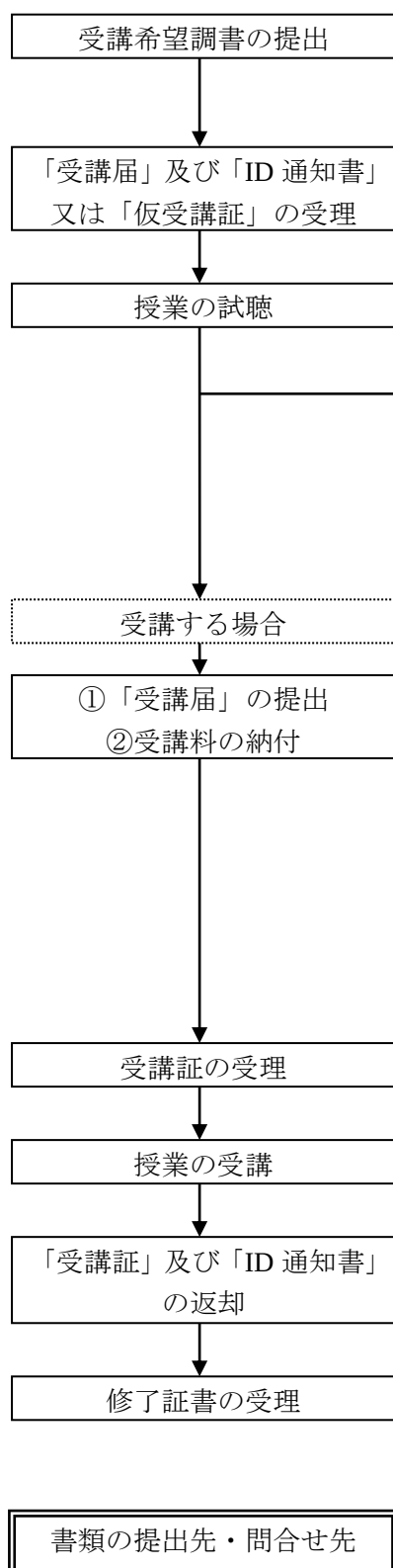
受講証をなくされた場合、再発行は有料になります。

また、下記の修了証書を希望される場合、出欠管理が必要となります。各教室の内側の前方に出席管理カードリーダーがありますので、学生と同様にご自分の受講証でタッチしてください。このカードリーダーはそれぞれ授業開始の 10 分前から有効となります。早すぎますと有効になりませんので十分注意してください。また、教室の外側、ドアの横に設置されているカードリーダーは電子錠用であり、出席管理カードリーダーではありませんので注意してください。

【修了証書の交付】

- 13 開講期間終了後に「修了証書」の交付を希望される場合は、受講届に交付の希望の有無を記載してください。受講状況を確認し、各科目において全授業回数の 2 / 3 以上出席されている場合は「修了証書」を発行します。

【受講手続きの流れ】



3 月 18 日（火）までに郵送にて提出してください。

受講希望調書は本募集要項の最後の頁にあります。

（インターネットでも可）

受講希望調書を受け付けした後、「受講届」及び「ID 通知書」又は「仮受講証」を郵送によりお届けいたします。

約 2 週間の試聴期間を設けています。

試聴のうえ受講するかどうかを決定してください。

受講しない場合

「受講届」及び「ID 通知書」又は「仮受講証」を郵送により 4 月 22 日（火）までに返却してください。

① 「受講届」を郵送にて提出してください。

（インターネットでも可）

※初めて受講される場合は、「受講証」用の顔写真（4cm×3cm）1 枚も併せてご提出ください。

② 受講料は、銀行振込にて納付ください。

銀行振込の場合は、振込にて納付後に「受講届」を郵送してください。

※「受講届」を持参する場合は受講料を事前に納付してください。

受講届の受付、受講料の納付確認後、「受講証」を郵送によりお届けいたします。（4 月下旬）

試聴期間に引き続き、授業を受講してください。

最後の授業終了後、速やかに「受講証」及び「ID 通知書」を郵送により返却してください。

希望された受講生に「修了証書」を郵送によりお届けいたします。

書類の提出先・問合せ先

福井大学 教務課 学務総務・共通教育担当

住 所：〒910-8507 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号

電 話：0776-27-8627

E-mail：kyoumu-kk@ml.u-fukui.ac.jp

Ⅲ 受 講 に 際 し て

【授業に関する連絡事項】

- 14 対面授業，オンライン授業の授業方法を問わず，授業に関する連絡事項（休講・補講や教材，課題の提示等）は学習支援システム（学生ポータル，WebClass，Google Classroom 等）に掲載されますので，適宜確認するようにしてください。なお，学習支援システムのマニュアルは試聴期間前に送付いたします。

【附属図書館の利用】

- 15 受講生は，附属図書館において受講証を提示することにより図書等の閲覧及び貸出しができます。

【福利厚生施設の利用】

- 16 受講生は，売店，食堂等の施設を利用することができます。

【受講生の呼び出し等】

- 17 対面授業の授業中における受講生への連絡や呼び出しには，対応できませんので，あらかじめご了承ください。また，授業中は，スマートフォン・携帯電話の電源をお切りください。

【受講生の義務】

- 18 受講生は，受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないよう努めていただくとともに，授業担当教員の指示に従ってください。

【受講許可の取消】

- 19 受講生が前項 18 の義務に違反し，本学の秩序を乱し，または受講生としてふさわしくない言動があった場合，受講許可を取り消すことがあります。
なお，受講許可を取り消された場合でも，既納の受講料は返還できません。

【損害賠償】

- 20 受講生が本学の施設，設備等を破損したときは，届け出てください。場合によってはその損害を賠償していただくことがあります。

【来学方法等】

- 21 来学される場合は，公共交通機関等を利用してお越しください。
もし自動車による来学を希望される場合には，来学の都度，大学正門横の守衛所にて市民開放プログラム受講証を提示し入構の手続きを行ってください。受講生は入構料は課されませんが，受講証の提示がない場合は，入構料を徴収される可能性があります（カーゲート方式ですので，守衛所で所定の手続きをとらなければ大学構内に自動車で入ることはできません）。また，入講と出構の手続きが困難な事由（歩行に障害がある等）がある場合には，教務課窓口にご相談下さい。なお，受講証を交

付されるまでは一般の来学者と同じ立場で行動していただくことになります。

大学構内の駐車場にはスペースの余裕がないために満車場合があります。また、構内での自動車にまつわるトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

IV そ の 他

【お問い合わせ】

22 市民開放プログラムに関するお問い合わせは下記の教務課窓口までお願いします。

また、希望される授業科目の概要についてより詳しくお知りになりたい場合は、福井大学 Web シラバスをご参照ください。

<https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/>



福井大学 学務部 教務課 学務総務・共通教育担当

〒910-8507 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号

電 話：0776-27-8627

E-mail：kyoumu-kk@ml.u-fukui.ac.jp

【自然災害等による気象警報発表時に伴う休講等について】

23 大雨，暴風，高潮，波浪，暴風雪，大雪などの気象時及び津波，火山噴火，地震（地震動）などの災害時に特別警報が，福井地方気象台から発表された場合や市町村等からの避難指示等の発令があった場合，大学として休講措置をとることがあります。気象等に関する警報が出た場合や災害等が発生した場合は，福井大学ホームページのトップページで臨時休講の有無を確認できます。

インターネットを使用できる環境がない場合は，午前 8 時以降に福井大学教務課（0776-27-8627 又は 27-8600）にお電話でお問合せください。

【個人情報の取り扱いについて】

24 本学が諸手続等で取得した個人情報及び，在学中に新たに取得する個人情報については，「国立大学法人福井大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に則り，「1. 休講等の諸連絡 2. 受講生交歓会の案内及び募集要項等の送付 3. 統計資料の作成」以外の目的では利用せず，適切に管理します。

市民開放授業科目一覧

※詳しい概要は 13 ページ以降の「市民開放授業科目概要」を参考にしてください。

フリーコースの場合は、以下に掲載の科目より選択してください。

- ・開放授業科目 [地域コア科目・教養教育科目]
- ・開放授業科目 [教養専門教育科目]

プログラムコースの場合は、以下に掲載の科目より選択してください。

- ・開放授業科目 [プログラム一覧]

－授業方法について－

① 対面型：

学内の講義室において、対面で授業を行う授業形態です。なお、授業中又は授業時間外学習としてオンラインの学習支援システムを使用する場合があります。

② オンデマンド型：

自宅等において、授業用の動画や PDF 資料等を視聴しながら自主学習を行う授業形態です。

オンデマンド型授業は指定の曜日・時限以外の時間帯に受講することも可能です。

※ ①+②の場合、授業日によって授業形態が異なります。

初回の授業時にご確認ください。

※ 授業方法等が変更となる可能性があります。初回の授業時にご確認ください。

2025年度前期 開放授業科目〔地域コア科目・教養教育科目〕

【基礎教育科目】

授業方法:「対面」の場合も一部オンデマンドを併用することがあります。

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
1-1	情報処理基礎(MB1)	鈴木 清, 植松 英之	水	3	①	情報処理演習室	2 名	一部オンデマンドの教材を用います。
1-2	情報処理基礎(MB2)	鈴木 清, 植松 英之	金	1	①	情報処理演習室	2 名	

【ものづくり・産業振興・技術経営分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
2	現代社会とビジネス	竹本 拓治	月	2	①	223L	5 名	
3	ロボットの知能と学習	高橋 泰岳	月	2	①	総合大2	5 名	
4	進化する繊維の技術	藤田 聡 他	木	1	①	132L	5 名	
5	現場で役立つ機器分析	入江 聡 他	木	1	①+②	121M	5 名	担当教員によって授業方法が異なります。
6	新素材の世界	入江 聡 他	火	1	①+②	131L	5 名	面接授業とオンデマンド授業の両方があって、3月下旬に日程が決まります。

【持続可能な社会・環境づくり分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
7	まちづくり論	菊地 吉信 他	火	1	①+②	122M	5 名	担当教員ごとに授業形態を指示します。
8	都市と建築の環境	西本 雅人, 桃井 良尚, 原田 陽子	月	2	①+②	132L	5 名	担当教員ごとに授業形態を指示します。
9	科学技術と環境	内村 智博, 鈴木 清, 岡田 敬志	月	2	①+②	121M	5 名	担当教員ごとに授業形態を指示します。
10	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	地域環境研究教育センター長 他	金	5	②		5 名	
11	カーボンニュートラル概論	高村 映一郎 他	木	1	①	223L	5 名	

【原子力・エネルギー分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
12	熱と流れ	永井 二郎	木	1	②		5 名	
13	地域の防災・危機管理	安田 仲宏, 松尾 陽一郎, 吉田 邦一	月	2	①+②	122M	10 名	

【人間理解・言語コミュニケーション分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
14	心を探る(心理学概論)	岸 俊行	月	2	①	K310	5 名	
15	感情・人格心理学	大西 将史	月	2	②		5 名	google classroomを用いて資料配布します。
16	スピーキング	ジャヌツィ チャールズ	火	1	①+②	204講	5 名	
17	ライティング	ジョーンズ デイラン	木	1	①	201講	5 名	
18	生涯学習とアクティブ・ラーニングA 仕事を通じた学習プロセスを探る	半原 芳子 他	木	1	①	101講	3 名	
19	哲学とは何か	白川 晋太郎	木	1	①	K320	2 名	
20	多様性を通じて社会を考える	藤岡 徹	月	2	①	総合大1	5 名	

【歴史・文化理解分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
21	発展途上国の人間地生態	月原 敏博	火	1	①	大1講	3 名	
22	地図に見る歴史と景観	門井 直哉	木	1	①	K110	5 名	
23	フランス文学入門	松田 和之	月	2	①	大視演	3 名	
24	ドイツの文化	磯崎 康太郎	月	2	②		5 名	
25	中国のことば	永井 崇弘	火	1	②		2 名	
26	造形美術の世界 ー表現世界の多様性	坂本 太郎	木	1	①	大視演	2 名	授業時に使用可能なスマートフォン等を持参すること。 受講にあたり、1000円程度のアプリの購入が必要になります。
27	越前若狭の古典文学	膽吹 覚	火	1	①	203講	3 名	
28	日本家族史1(現代からさかのぼる)	藤方 博之	火	1	①	206講	2 名	

【社会経済分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員		備 考
29	ジェンダー論	羽田野 慶子	月	2	①+②	11講	3	名	webclassを主に利用、一部オンデマンドを取り入れる。
30	「生活」とは何か	末川 和代	木	1	①	12講	5	名	google classroomに登録すること。PCを持参すること。
31	マネジメント入門	竹川 充	月	2	①	13講	5	名	
32	地域コンサルティング入門	江川 誠一	火	1	①	12講	5	名	

【科学技術分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員		備 考
33	バイオの世界	辻 岳志 他	月	2	①	131L	5	名	
34	生体情報工学	浅井 竜哉	木	1	①	総合大1	5	名	
35	科学的な見方・考え方	山田 吉英, 小林 和雄	火	1	①	総合研究棟 I 10階 理科カリキュラム 開発実験室	2	名	
36	数と方程式	櫻本 篤司	月	2	①	K420	2	名	
37	数理・データサイエンス入門	松本 智恵子, 藤田 亮介, 廣瀬 勝一	月	2	①+②	情報処理演習室	5	名	“WebClassとGoogleClassroomを併用 基本はオンデマンド型ですが、演習 課題について直接指導を受けたい 学生のために面接授業の時間を設 定する予定です(第1回ガイダンス参 照)”
38	植物の生活史と進化	西沢 徹	木	1	①	K310	5	名	

2025年度前期 開放授業科目〔教養専門教育科目〕

【教育学分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
101	初等確率論	松本 智恵子	水	1	①+②	情報処理演習室	5 名	WebClassとGoogleClassroomを併用

【工学分野 機械・システム系】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
102	伝熱工学	永井 二郎	金	2	①	総合大2	5 名	敦賀キャンパスの教室とオンライン接続してリアルタイムで遠隔授業を実施します。WebClassを併用して授業を行います。
103	加工学Ⅰ	岡田 将人	木	3	①	122M	5 名	
104	基礎高分子科学	庄司 英一	火	2	②		5 名	
105	機械要素設計Ⅱ	本田 知己	火	2	①	211M	5 名	
106	材料力学Ⅰ	旭吉 雅健	月	5	①	総合大1	5 名	
107	物理化学(b)	有田 裕二	水	4	①	312L	5 名	
108	流れ学Ⅰ	田中 太	火	2	①	K310	5 名	

【工学分野 電気電子情報系】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
109	半導体工学	塩島 謙次	月	3	①	221M	5 名	
110	計測工学	牧野 哲征	水	4	①	131L	5 名	
111	電子回路	塩島 謙次	月	5	②		5 名	
112	電気回路Ⅰ(a)	茂呂 征一郎	木	4	①	122M	5 名	
113	量子エレクトロニクス	川戸 栄	木	2	①+②	221M	5 名	WebclassとGoogleClassroomを併用して行います。詳しくはシラバスをご確認ください。
114	固体電子論	ASUBAR JOEL TACLA	月	4	①	122M	5 名	

【工学分野 建築・都市環境系】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
115	一般構造	井上圭一, 磯 雅人,	木	2	①	133L	5 名	2限+3限の半コマ
116	建築史	山田 岳晴	木	3	②		10 名	オンデマンド対応で録画配信しますが、アクティブ・ラーニング部分があるため、同時授業(リアルタイムオンライン)での受講をお勧めします。
117	都市デザイン	野嶋 慎二	木	2	①	131L	5 名	
118	都市計画	浅野 周平 他	水	2	①	133L	5 名	

【工学分野 物質・生命化学系】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
119	化学基礎	藤田, 内村, 吉見	木	3	①	K310	5 名	
120	生物化学Ⅱ	里村 武範, 寺田 聡	月	3	①	223L	5 名	
121	分析化学Ⅰ	高橋 透, 内村 智博	火	3	①	大2講	5 名	高等学校の課程で「化学」・「基礎化学」(または「化学Ⅰ」・「化学Ⅱ」)を履修していること

【工学分野 応用物理学系】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
122	物理学A(力学)	熊倉 光孝	火	3	①	総合大2	2 名	
123	物理学B(電磁気学)	立松 芳典	水	2	①	K420	5 名	
124	物理学C(波・光)	藤井 裕	水	2	①	総合小1	5 名	
125	物性物理学Ⅰ	光藤 誠太郎	水	4	①	総合小1	5 名	

【国際地域学分野】

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備 考
126	日本語学概論	佐藤 綾	木	3	①	207講	3 名	
127	日本文化の基礎	ヘネシー・クリストファー・ロバート	火	4	①	14講	2 名	英語による授業。英語力を確認するため事前に担当教員と相談必要。
128	統計入門	松本 智恵子	水	4	①+②	情報処理演習室	5 名	WebClassとGoogleClassroomを併用

2025年度前期 開放授業科目 [プログラム一覧]

プログラム名: データサイエンス・AI入門

(データ科学・AI教育研究センター共催)

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備考	開講学期
1-1	情報処理基礎	鈴木, 植松	水	3	①	情報処理演習室	2 名	一部オンデマンドの教材を用います。	前期
1-2	情報処理基礎	鈴木, 植松	金	1	①	情報処理演習室	2 名		前期
3	ロボットの知能と学習	高橋 泰岳	月	2	①	総合大2	5 名		前期
37	数理・データサイエンス入門	松本, 藤田, 廣瀬	月	2	①+②	情報処理演習室	5 名	WebClassとGoogleClassroomを併用 基本はオンデマンド型ですが、演習課題について直接指導を受けたい学生のために面接授業の時間を設定する予定です (第1回ガイダンス参照)	前期
	人工知能論	小高 知宏							後期
	対話と直観と共感で学ぶ物理	山田 吉英							後期
	データサイエンス・AI入門	玉井 良則							後期
	数理・データサイエンス入門	松本, 藤田, 廣瀬							後期

「数理・データサイエンス入門」は前期・後期の両学期に開講がありますので、都合のよい学期に履修してください。

プログラム名: 社会人にも役立つリベラルアーツ

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備考	開講学期
14	心を探る(心理学概論)	岸 俊行	月	2	①	K310	5 名		前期
15	感情・人格心理学	大西 将史	月	2	②		5 名	google classroomを用いて資料配布します。	前期
19	哲学とは何か	白川 晋太郎	木	1	①	K320	2 名		前期
20	多様性を通して社会を考える	藤岡 徹	月	2	①	総合大1	5 名		前期
21	発展途上国の人間地生態	月原 敏博	火	1	①	大1講	3 名		前期
24	ドイツの文化	磯崎 康太郎	月	2	②		5 名		前期
29	ジェンダー論	羽田野 慶子	月	2	①+②	11講	3 名	webclassを主に利用、一部教材をclassroomで配信	前期
30	「生活」とは何か	末川 和代	木	1	①	12講	5 名	google classroomに登録すること。PCを持参すること。	前期
	応用倫理学入門	白川 晋太郎							後期
	主権者意識をはぐくむ	橋本 康弘							後期

プログラム名: 地域創生と持続可能な社会づくり

番号	授業科目名	担当教員名	曜日	時限	授業方法	講義室	募集人員	備考	開講学期
2	現代社会とビジネス	竹本 拓治	月	2	①	223L	5 名		前期
4	進化する繊維の技術	藤田 聡 他	木	1	①	132L	5 名		前期
7	まちづくり論	菊地 吉信 他	火	1	①+②	122M	5 名	担当教員ごとに授業形態を指示	前期
9	科学技術と環境	内村, 鈴木清, 岡田	月	2	①+②	121M	5 名	担当教員ごとに授業形態を指示	前期
10	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	地域環境研究教育センター長 他	金	5	②		5 名		前期
13	地域の防災・危機管理	安田, 松尾, 吉田	月	2	①+②	122M	10 名		前期
	コミュニティと住民組織	田中 志敬							後期
	こども環境学入門	栗原 知子							後期

番号について

前掲の「開放授業科目一覧」、後掲の「授業科目の概要」の番号と共通です。

「授業科目の概要」も番号順に掲載していますので、番号・科目名で検索ください。

また、当該学期に開講する科目にのみ番号の記載があります。曜日・時限だけでなく、開講学期もご確認のうえ受講希望科目を選択してください。

市民開放授業科目概要

授業科目の概要について、より詳しくお知りになりたい場合は、
福井大学 Web シラバスをご参照ください。

<https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/>



※シラバス検索画面にて「授業科目名」等で検索してください。

前期開放授業科目〔地域コア科目・教養教育科目〕

本ページに記載の授業概要から授業内容が変更となる可能性がありますので、試験期間に授業内容をご確認ください。

【基礎教育科目】

番号	科目名	授業概要
1	情報処理基礎	コンピューターを用いたWEB上の情報の収集および連絡は社会人として備えるべき必須の能力です。表計算は、効率的な作業を可能にします。また、文書・プレゼンテーションの作成は、他者に成果を報告したり提案を行う際に必要不可欠な能力です。それらの情報処理に関する基礎的知識と技術を習得することを目的としています。受講生はネットワークに接続されたパーソナルコンピュータに実際に触れながら、電子メールやWEBサイトなどのネットワークの利用、文書・プレゼンテーションの作成、描画、表計算・数式処理などのアプリケーションソフトの利用を学び、コンピューターとネットワークを活用するための基礎知識・技能の習得を目指します。

【ものづくり・産業振興・技術経営分野】

番号	科目名	授業概要
2	現代社会とビジネス	私たちが住む社会は、時代とともに変化します。社会の要素のひとつであるビジネスはその変化がより顕著です。経済学者シュンペーターは、『創造的破壊』という言葉を用いて、旧態依然とした非効率なものは新たな効率的なものによって駆逐され経済が発展すると述べました。この授業では、経営経済学の基礎を説明し、アセアン経済の統合を踏まえたグローバルかつ時事的なビジネス事情を取り上げ、受講者が教養的な知識を得ることを目標とします。 どのような専門を学ぶにせよ、その知識を活かす場は、多くの場合、現代のビジネス社会です。消費者側としての視点のみならず、専門知識をビジネスに活かす生産者側の視点をもつためにも、教養的、汎用的かつグローバルな企業経済の知識は大切です。
3	ロボットの知能と学習	近年のロボットの知能化技術は様々なものがあるが、中でもソフトコンピューティングと呼ばれる人間に似た柔軟な情報処理手法や、ニューラルネット・遺伝的アルゴリズム・強化学習といった生物の学習メカニズムにもとづく学習手法も盛んに研究されて来た。また、確率論をロボットにおける認識や行動選択に応用する確率ロボティクスの研究も進んでいる。本講義ではこれらの概要についてオムニバス形式で紹介する。また、授業担当者が地域の自治体や企業等と共同開発している/いたプロジェクトについて紹介する。 本講義では、機械系・電子系・情報系・生物系などの複合分野に属するロボティクスの基礎理論や技術動向について学習する。
4	進化する繊維の技術	機能性繊維の基礎的事項を取り扱い、専門教科への橋渡しを目標としている。繊維・繊維製品というと、衣料品や家庭・インテリア用品をイメージするが、これら以外の産業資材用途においても、多くの繊維材料が用いられ、各用途に応じた機能が付与されている。本講義では、繊維の機能性とその新しい用途について理解を深める。 様々な物質(繊維材料)に関する知識に加え、広範囲にわたる分野が繊維技術と密接に関連していることを理解する。
5	現場で役立つ機器分析	研究・開発の現場から生活環境にいたるまで至る所で測定機器による測定が必要とされている。将来どのような分野・業種・職種に携わることになっても、また日々の生活においても、必要な分析を把握し、たとえ自ら実施・データ処理・解析できなくても、適切な機関・企業・組織・人材と連携し適切に行動できるようになること。また大学の地域に果たすべき役割について考え大学を卒業した後の関わり方・活用法について自分なりに考えること。
6	新素材の世界	現代の科学技術の進歩は、種々の機能性材料の開発に依るところが大きい。新素材と呼ぶべき新しい機能性材料は、セラミックス、高分子材料、有機材料、金属材料、生体材料などきわめて広範囲にわたっており、それらすべてを本講義で網羅することはできない。本年度は液晶や有機ELなどのディスプレイ関連材料、生活と新素材の関係、構造と物性の基礎概念、高分子材料の添加剤、分離機能材料、電池関連材料のトピックスにしばって講義を行う。

【持続可能な社会・環境づくり分野】

番号	科目名	授業概要
7	まちづくり論	まちづくりとは、人と人、人と物や情報、それらと空間との関係づけを前提として、快適かつ持続可能な地域環境と地域コミュニティを創造することである。 この授業では、こうしたまちづくりにおける基本的な考え方と技術としての取り組み方を、理論と事例の紹介を通して概説し、様々な立場でまちづくりに参画するための素養を習得する。 さらに、地域を志向した学習により、学生の主体的な学びの機会を提供する。
8	都市と建築の環境	都市と建築の環境について、光、熱、音、空気、水等の物理的環境と視覚、感覚、心理、生理等の人間環境との関わり合い、並びに都市と建築における人間の心理、生活、行動と空間の関係について講義を行う。 建築、都市環境に関する初歩的な講義を行い、建築や土木分野以外の一般的な学生を対象として、地球的視野に基づく思考力を養う。同時に自分達の身の回りの建築、都市環境の問題に関する理解を広める。

番号	科目名	授業概要
9	科学技術と環境	現代の私たちの暮らしは科学技術なしには成り立たず、人間の活動を通じて科学技術が地球環境に大きな影響を与えるようになっていきます。この授業では、科学技術の環境への影響について4人の材料開発工学専攻の教員がさまざまな視点から論じます。科学技術が社会や地球環境に及ぼす影響・効果を考えることを通じて、受講者各人が地球環境の有限性に立脚して持続可能な社会の創造に参画できる力を培うことを目標としています。
10	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	地域環境研究教育センターの兼任教員を中心に、自然科学、医学及び工学のみならず、人文科学、生活科学等の教員が毎回交代で地球環境問題の中でも特に地域社会や日常生活に直接影響を及ぼす問題・課題について述べる。例えば、環境問題、自然災害、気象および歴史について、特に福井や日本海地域に特化した話題について講義を行う。
11	カーボンニュートラル概論	カーボンニュートラルに関連した内容の講義を、14名の教員がオムニバス形式で行う。地球温暖化の現状と各種要因に始まり、カーボンニュートラル実現に向けた技術的・社会的な課題と今後について、幅広く基礎的な内容の講義を行う。

【原子力・エネルギー分野】

番号	科目名	授業概要
12	熱と流れ	熱と流れは、種々の工学・技術の基礎となるものである。日常体験する事象をもとに、温度・熱の概念理解と熱エネルギーの性質や利用方法、流体の特性と物体が流れから受ける力など、熱と流れに関連する基本的センスが身につくよう、1コマ1テーマを原則として授業を行う。できるだけ、数式は使用しないこととする。また、多面的に物事を考える能力とその素養、技術が社会や自然に及ぼす影響・効果の理解、自然科学に関する知識の修得に関連している。
13	地域の防災・危機管理	日本海側での地震・津波災害など地域の災害危険性と被害の想定を知り、行政を中心とした防災のしくみ(法律、国・県・市町村や防災担当者の役割)を過去の例と最新の取組みに学ぶ。また、危機管理の方法、原子力災害の特殊性、災害に強い街づくりなどに必要な事項を習得する。

【人間理解・言語コミュニケーション分野】

番号	科目名	授業概要
14	心を探る(心理学概論)	私たちは日常生活を行っていく上で、いくつもの困難に遭遇します。例えば家族や友人と上手に人間関係を築くことが出来ないとか、多くの選択肢の中から最適な選択をすることが難しいなど、日々の生活の中で悩む事が多くあります。私たちが日常生活で遭遇する様々な難しさは私たち人間の有している特徴によるところが大きいといえます。 本講義では、私たち人間が持っている特徴に関して「こころ」という非常に曖昧な概念を中心に解説しながら、心理学全般について解説を行っていきます。心理学概論という位置づけで、心理学の一般的な考え方、心理学史、学習心理学、認知心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学などの知見の紹介を中心に行っていく予定です。更に心理学的領域の話題のみならず、社会学や哲学、工学の知見と心理学的知見との対比を行い、「人・こころ」について多角的に検討していきます。講義では、出来るだけ現実的な話題を中心にしながら展開していく予定です。
15	感情・人格心理学	感情と人格について、感情心理学と人格心理学の両方の観点から総合的に学ぶ。感情とはどのような現象かについて解説した後、感情の基礎理論として、1. 基本感情理論、2. 神経生理学的理論、3. 認知理論、4. 社会構成主義理論、について解説した後、これらを統合し、情動の発達過程も考慮した理論について解説する。また、感情と関連の深い人格(パーソナリティ)についても、その概念の特徴について解説した後、1. 類型論、2. 特性論、3. 精神分析理論、4. 学習・認知理論、5. 人間性心理学、という5つの理論的立場からのパーソナリティの捉え方について解説する。最後に、パーソナリティの形成と発達について取り上げ解説する。
16	スピーキング	The primary goal of this course is for students to practice English speaking, oral communication, and discussion. The secondary goals include development of listening, reading and key vocabulary in English. Speaking, listening, and oral communication skills are essential to learning and using a foreign language, such as English. Knowledge and mastery of the most frequent words of English and the TOEIC are key to getting high TOEIC score. The materials and activities used in this course will give students time to practice English speaking using discussion and key TOEIC vocabulary.
17	ライティング	The main aim of this course is to develop students' writing abilities and styles.
18	生涯学習とアクティブ・ラーニングA 仕事を通じた学習プロセスを探る	職業人に求められる力、そうした力を実際の仕事の経験を通して培っていくプロセスを、職業人からの聞き取り調査を重ねながら探り、自分自身の生涯にわたる学びへの展望を拓くとともにそのプロセスを通して協働して探究する学びを体験的に学ぶ。

番号	科目名	授業概要
19	哲学とは何か	昔から「哲学なんて無駄」「社会の役に立たない」などと言われながらも、その営みが廃れることなく連綿と続いてきたのは、哲学に独特の魅力と有用性があるからにほかならない。 本授業では、形而上学・認識論・倫理学・言語哲学・論理学の哲学・社会存在論・生の哲学といった哲学の諸分野のなかでも、特に初学者にも興味が湧きそうなトピックを取り上げ、できる限りわかりやすく解説する。 この授業を通して日常や人生のそこかしこには深遠な哲学的問題が顔を覗かせており、その深みにはまり思索を重ねることには独特の楽しさがあることを知ってもらいたい。新たな産業革命が起こりつつある現代では、将来どのような職種に就くにしても、既存の枠組みや価値から適度に距離を取る哲学的態度は役立つはずである。
20	多様性を通じて社会を考える	担当者の専門は特別支援教育です。その中でも発達障害への支援を専門としています。発達障害特性についてや発達障害のある人が生活・学習しやすい環境（つまり多様性）、発達障害のある方が直面する困難がなぜ生じるのか学び考えることを通して、またそれらと分野の近い虐待やマルトリートメント（不適切な養育）についても実態を学び考えることを通して、私たちが過ごしている社会について考えることを目的としています。

【歴史・文化理解分野】

番号	科目名	授業概要
21	発展途上国の人間地生態	○発展途上国・地域の抱える諸問題とその動向 ○それらと先進国の抱える諸問題との関係性 ○発展途上国・地域によっても問題の表れ方や状況が異なること ○発展途上国・地域がもっている様々な個性 ○今後あるべき国際協力のあり方 以上5点について見識を深めること。 発展途上国・地域には現代世界の諸問題が集中的に現れてきている面があるにもかかわらず、本学の授業科目のなかで発展途上国・地域をテーマとするものは他にない。本科目はその意味で貴重であるだけでなく、現代世界についての広い見識や深い教養を身につけるという共通教育科目の履修目標の一つにも沿う科目となっている。
22	地図に見る歴史と景観	地図に描かれた景観の読解を通じて、現在と過去との結びつきを理解すること。 普段、身の回りに存在している諸事象が、遠い過去の出来事と関連しているということも少なくない。本講義では、「変化」の側面だけでなく、「継続」の側面にも注目したい。
23	フランス文学入門	19世紀後半から20世紀初頭にかけて、長らく西欧社会を支配してきた「絶対」という観念が急速に力を失い、それに代わって「相対」的な物の見方が確実に浸透してゆく。この講義はアポリネールというひとりの詩人に特に焦点を当てるが、作家論的な内容にとどまらず、彼をいわば狂言回しの扱いすることで、「絶対」から「相対」へという現代にもつながる重大な価値観の転換について、文学や美術、音楽等のさまざまな観点から講じてみたい。この授業が、受講者にとって、欧米の言語と文化に関する幅広い知識と教養を身に付け、さらには多様な価値観を尊重することの重要性を学ぶ機会となることが期待される。
24	ドイツの文化	個人のなかに残された記憶、それが時間的・空間的に拡大された世代や地域という枠組で共有された集合的記憶、さらにはそれがメディア化された文化的記憶という三つの観点から、人々の記憶とメディアのなかに現れた、ナチズムと戦後ドイツの現代史を考察します。授業で扱う内容は、パソコン投影によって提示し、映像や配布資料も交えながら、現代のドイツの文化を取りあげます。
25	中国のことば	受講者はこの授業で語学としての中国語の授業では時間的制約があり触れられない中国語の周辺知識を修得します。授業では中国語母語話者の大多数が居住している中華人民共和国に焦点をあてて、1949年の成立から21世紀初頭までに流行した流行語が紹介されますが、受講者はそれぞれの時期を代表する流行語の知識を修得するとともに、1949年から21世紀初頭までの流行語の変遷を把握します。その際に、受講者は各流行語が発生した原因や社会的背景、その時期の流行歌、文化現象などを写真や映像、音声も交えながら学び、疑似体験的に流行語への理解を深めます。
26	造形美術の世界ー表現世界の多様性	実践的学習（講義、作品制作、美術批評）を通して、美術表現の多様性をよりよく理解し、独自の視点を養う。
27	越前若狭の古典文学	この授業では越前国・若狭国（現在の福井県）と所縁のある日本の古典文学作品の読解を通して、古典文学に関する知識を涵養し、文学研究の方法を理解し、福井県に関する興味を深めることを目標とする。この授業では近世（江戸時代）の怪談奇談を中心に、その作品が書かれた当時の文化史的背景を踏まえて読み解く。

番号	科目名	授業概要
28	日本家族史1(現代からさかのぼる)	本講義では、現代からさかのぼって明治維新期までを対象とし、日本社会における家族の変遷を解説する。各時代状況の概説も織り込みながら、家族がどのように変容してきたか、どのように現代につながっているか、あるいはどこに断絶があるかを提示することを目指す。受講を通じて、現代の諸問題を歴史的な視点から考察する思考方法を身につけてもらいたい。

【社会経済分野】

番号	科目名	授業概要
29	ジェンダー論	20世紀初頭に始まった女性解放運動(フェミニズム)は、近現代を通じて全世界的な広がりを見せ、労働・教育・家族・性など様々なジェンダー問題を社会に提起してきました。ジェンダーは、女性だけでなく男性を含めすべての人々にかかわるテーマです。この授業では主として、ジェンダーと教育をめぐる問題、男女の労働とワークライフバランス、女性に対する暴力、の3つのテーマを取り上げます。
30	「生活」とは何か	生活は、人間が生涯にわたって繰り返す営みであり、その様相は営む個人の価値観等によって大きく異なる。また、ある人間の生活が、他者の生活や周囲の環境と相互に関わり合うことで、社会は形成される。すなわち「生活」とは、社会科学が対象とする「人間」や「社会」そのものであり、社会科学的研究においては極めて重要なキーワードであると言える。 「生活」とは何か?」をテーマに展開する本授業では、特に「人間の生命・労働力の再生産の場」としてもとらえることができる家庭生活に焦点を当てる。生活を構成する様々な事象を家政学的見地から分析し、現代における生活の問題点や課題を認識する。その上で、生活を送る主体として、人間に求められるものは何かを検討する。
31	マネジメント入門	私たちの生活は密接に企業と関わっている。起きてから寝るまでに、どれだけの企業の製品やサービスと関わっているのだろうか。また、大学生の多くは、卒業後に民間企業に就職する。本講は、こうした企業の経営活動を学修する「入り口」である。 この授業を通して、企業経営について興味を持ち、経営学が卒業後にも「使える学問」としてあることを感じ取って欲しい。経営学は、実際の企業活動に関する現象や因果関係に対して理論付けを行っていく学問であり、様々な他の学問(例えば経済学や社会学・心理学など)との関連性が深い。そうした学際的な一面とは裏腹に、現実的でダイナミックな環境変化に晒されている企業を対象としたものである。 この授業は、経営学を専門として学ぶ学生だけでなく、企業経営に関心を持つ学生の履修を推奨する。自身の専門分野と経営学の関わりについて考えながら受講されたい。
32	地域コンサルティング入門	コンサルティングとは、対象(=顧客「クライアント」)の依頼やニーズを踏まえ、論理性、専門性、客観性等を基本に、さまざまなアプローチから調査を進め、課題解決等に向けた助言や指導を行うことである。このうち本科目では、地域(地方自治体、地域経済団体、地域住民等)を対象にしたコンサルティングの基礎を学ぶ。 まず、地域コンサルティングの枠組みを把握した上で、主なコンサルティング手法の各論へと進む構成にしている。全てのベースとなるのはEBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)の考え方。具体的には授業内容を参照すること。 ＜留意点＞企業を対象としたコンサルティングにも応用可能な部分もあるが、基本的に地域を念頭においていること。高度な統計解析には踏み込まないこと。

【科学技術分野】

番号	科目名	授業概要
33	バイオの世界	わたしたちの身の回りには、多くの生物が生きており、私たちはまさに「バイオの世界」で暮らしています。わたしたちの環境を理解し、また我々自身の身体・健康についても科学的にとらえることができることを1つの目標にしています。 また、生命の科学に直接関連しない学部や学科の学生を対象に、マスコミにぎわせている生命に関連した話題や問題をある程度理解し、自分なりの考え方を持てるような基礎知識を提供することをもう1つの目標としています。
34	生体情報工学	医療の分野では様々な装置を用いて、体を傷つけることなく体の内部の情報を得ることが可能です。生体情報を得る方法として医用画像診断装置でよく用いられているのが、電磁波と放射線です。電磁波と放射線には様々な種類があり、それぞれ特性が違います。その特性をうまく利用することで、様々な生体情報を画像化できます。この授業では、電磁波や放射線を用いてヒトの脳などの生体情報を画像化する手法、および画像化の基となる物理原理について理解することを目的とします。

番号	科目名	授業概要
35	科学的な見方・考え方	実験室でのグループワーク(実験・討論・問題演習)中心の授業です。グループワークに参加するため、予習用テキスト(オンデマンド教材)の勉強が求められます(反転授業)。また、問題演習の宿題も課されます。 学習目標と学習内容は以下の通りです: 基本的な幾何光学の知識を、現実の実験・現象に対して一貫して適用できる定性的な推論能力と、現象の解釈に関して他者に説明できる表現能力の育成。 なお、科学で使う言葉は数学ですが、使うのは中学校程度の三角形角度定理、高校程度の三角比・近似くらいです。自称「文系」の人もがんばれば大丈夫でしょう。
36	数と方程式	代数学の基本である数と方程式の理論について学ぶ
37	数理・データサイエンス入門	「科学技術分野」の学習目標である、「現代社会で享受されている多様な科学技術や文明の根本原理と、これらが現在及び未来の社会に与える影響について、広い視点から関心を持ち、各自の視点で考えていく力を養成する」科目の一つとして、現代社会において最も重要なスキルの一つとなっている「数理・データサイエンス・AI」の基本について、各種の文献やデータサイエンス・AIに関わっている方々の視点、実際のデータを利用した演習を通して学んでいく。
38	植物の生活史と進化	○植物の一生について、個体レベル(生活環)と種および集団レベル(生活史)の両面から基本的な特徴について理解することを目指します。次に、植物の多様性について、本講義では特に被子植物の繁殖様式に視点を当て、それらの多様性がどのようなメカニズムで創出されたのか、進化的な視点から理解することを目指します。 ○植物に関する基本的な事項から解説をおこないます。既存の理解度にかかわらず、植物に興味がある学生、植物を好きになりたい学生の受講を期待しています。特に、身近な植物に関する理解と興味の深化に重点をおいて講義を進めます。地域の植物に関心を持ち、将来、学校教育における教員を目指す学生の受講を歓迎します。

前期開放授業科目[教養専門教育科目]

本ページに記載の授業概要から授業内容が変更となる可能性がありますので、試験期間に授業内容をご確認ください。

【教育学分野】

番号	科目名	授業概要
101	初等確率論	将来の様々な状況において必要となる実践的な課題解決力を身に付け、指導する為に、応用数学の1つとして「確率」の基礎を学ぶ。

【工学分野 機械・システム系】

番号	科目名	授業概要
102	伝熱工学	熱力学では温度が一様な平衡状態を対象としていた。伝熱工学は、温度の空間分布や時間変化あるいは熱の移動速度を対象とする。伝熱(熱移動)の基本形態である熱伝導、対流熱伝達、ふく射(放射)伝熱の基礎法則を理解し「伝熱的なセンス」を身につけ、対流熱伝達が主要素である熱交換器、熱伝導が主要素である断熱壁、ふく射伝熱が主要素である燃焼炉など様々な熱機器の伝熱計算や、その他種々の伝熱現象の熱計算ができるようにする。
103	加工学Ⅰ	・機械加工は、生活に必要な様々な“モノ”を要求される寸法形状に製作するための重要な加工技術である。機械加工の中でも切削加工、研削加工、研磨加工は、素材から製品に至る過程において素材の不要部分を工具との機械的干渉により削り取る加工法で、一般に旋盤、フライス盤、ボール盤、研削盤、研磨機等の工作機械を用いて行われることが多い。本講では、これらの加工法を理解する上で必要な加工法の概要、原理について詳細に解説する。 ・電気化学的加工やレーザー加工は、機械加工と並んで機械工作法の中で、素材から不要部分を除去する除去加工に分類される工業的にも重要な加工法である。本講では、これらの加工法を理解する上で必要な加工法の概要、原理について詳細に解説する。 ・金型技術や表面処理技術は上記の除去加工法の適用製品ならびに付随する技術として、理解が求められる技術である。本講では、これらの技術について、概要、原理、産業界での状況について解説する。
104	基礎高分子科学	高分子は工学系のあらゆる分野に関っています。石油から創る合成系高分子から、植物に由来する天然系高分子まで、様々な高分子が存在します。私たちの体を作るタンパク質も高分子です。高分子は、新素材、高性能材料、駆動素子(アクチュエータ、人工筋肉)、エネルギー変換材料、リサイクル可能な材料、持続可能な材料、SDGsの話題などで、現代の科学技術の多くの分野で利用されている理由を説明します。限られた時間ですが、高分子について大要を学べるようにします。
105	機械要素設計Ⅱ	材料学、材料力学、加工学などの主要分野を基礎として、機械設計の基礎となる通則や寸法公差、個々の機械要素についての規格、強度や変形に基づく設計法及び使用上の注意事項に関する知識を得る。
106	材料力学Ⅰ	材料力学は、各種構造物や機器の強度設計上必要不可欠であり、機械工学を履修する上で最も基礎となる学問の一つである。 物体への負荷として、引張・圧縮、ねじり、曲げやそれらの組合せがあるが、ここでは、一様断面の棒やはりにこれらの荷重が負荷されたときの応力や変形量を理解し、取扱いを習熟する。 材料力学の基礎方程式を理解し、物理的なイメージを構築する。
107	物理化学(b)	物質の構造・性質・変化の原理や仕組みについて、分子の視点から考える物理化学の基礎を学ぶ
108	流れ学Ⅰ	機械系エンジニアとして知っておかなければならない流れ学分野の基礎知識を修得するのがこの講義の目標である。 流体力学の基礎知識を修得し、関連する専門技術分野に応用できる能力を養う。

【工学分野 電気電子情報系】

番号	科目名	授業概要
109	半導体工学	半導体工学は、半導体内の電子の振る舞いの理解をめざした学問です。本講義では、まず量子論と統計力学の基礎の復習を行い、固体のバンド理論の基礎を学ぶ。次に半導体の電気伝導現象、キャリア密度、キャリア生成と再結合過程について学び、キャリア連続の式を導く。また、pn接合、金属／半導体界面、MIS界面、光学物性について学ぶ。本授業は、専門科目「電子デバイス」の基礎となる科目であり、電子回路や電子機器の設計の基礎知識としても重要な科目です。

番号	科目名	授業概要
110	計測工学	電気電子情報工学に関連する基本的な物理量の測定原理、方法、測定の生データの処理などについて基本的事項を学習させる。
111	電子回路	まずpn接合ダイオードの基本動作を理解した後、バイポーラトランジスタを中心に、その動作原理、バイアス回路と接地方式、等価回路とhパラメータなどを学習する。上記の基礎知識に基づき、CR結合増幅回路や負帰還増幅回路などの基本増幅回路の原理と特徴を理解する。トランジスタと電子回路の基本動作を学び、電子回路と情報社会との関連性を理解する。
112	電気回路 I (a)	本講義ではIC等の大規模回路の解析をも扱えるようになること、および、信号処理論、システム制御理論、電力システム等を理解するための基礎を与えることを目指し、電気回路の基礎的な事項を習得する。
113	量子エレクトロニクス	量子エレクトロニクスは、光と物質のコヒーレントな相互作用をさまざまな分野へ応用する学問です。電子技術として知られているエレクトロニクスに相当する量子技術、いわゆるフォトンクスとも言われています。本講義では、量子力学の基本的な考え方を復習した後、光と物質の相互作用の基本的な考え方を学びます。次に、量子エレクトロニクスの基盤となるレーザーの原理と特性を学ぶとともに、その応用を学びます。以上の講義を通して、レーザーの研究開発と応用に必要となる基礎学力を養成します。
114	固体電子論	半導体の物性を学ぶに当たり、量子力学、固体全般の物性、統計力学の知識は重要である。そこで、2年前期に習った「量子力学」に続き、本科目で固体全般の物性を学ぶ。つまり、3年前期で学ぶ(電気・電子工学科の学生にとって特に重要な)「半導体工学」の前段階としての位置付けである。なお、物性を説明するためには量子力学・統計力学は必須なため、量子力学の復習や物性の説明に必要な量子力学・統計力学の説明は適宜行う。

【工学分野 建築・都市環境系】

番号	科目名	授業概要
115	一般構造	建築構造の基本的概念、すなわち(i) 建築空間の構造的認識(素材、安定な構造のしくみ、構造形式)、(ii) 構造体として重力ならびに自然災害(地震、台風、大雪等)による外乱に対しての抵抗のさせかた、(iii)木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造に関する工・構法、用語、しくみ、耐震性の基本的な考え方を習得することを目的とする。
116	建築史	「建築」は地域・時代の生活・文化を背景に成り立っています。それら日本及び世界の建築の“意匠(デザイン)”や“構成”の特性を理解します。それらがどのように変化したか・発展したかを理解します。建物の特徴が現代にも繋がっており、時代を超えて共感が持てる“意匠(デザイン)”や“建築美”となることを学び、地域の特徴が世界視点となることを学び、自然と風土を生かした建築構築の知識を習得します。建築部材の実物に触れるなど学生の積極的な学習参加により、現在流布している諸説を見直し、体系的に建築文化を理解します。
117	都市デザイン	望ましい市街地を形成するための総合的な都市デザインの理念と実践的方法を修得する。道路や鉄道や建物や緑地などの都市を構成する要素の相互の関係を明らかにし、これを関係づけ、時間の調整をしながら漸進的に関係づけを行っていくことが都市デザインである。この授業では、地域社会における都市の構成要素間の関係性(都市の構成原理)を読みとり、地域や自治体と連携しながら計画し、実践していく総合的な方法を考える。
118	都市計画	生活空間としての都市の本質、要件等を理解するとともに、都市を計画するための基本的考え方、手法を体系的かつ網羅的に学習し、本科目以降の都市計画に関わる各論の基礎を習得する。また、都市計画に携わる計画者・技術者としての基本的な姿勢・考え方を身に付ける。

【工学分野 物質・生命化学系】

番号	科目名	授業概要
119	化学基礎	高校の化学から大学の化学への橋渡しとして、また同時もしくは以後受講する「無機化学」、「分析化学」等の理解にも役立つように、化学における基礎量、原子の構造、化学結合、分子の構造などを講義する。
120	生物化学 II	この授業では主に生体内に存在する有機高分子の構造と機能に関する事柄について学習する。生物化学の基礎知識を修得し、バイオ技術に応用する能力をつける。前半は生命機能において必須の生体成分である酵素について学習する。後半は糖質や脂質について学ぶ。
121	分析化学 I	自然界に存在する物質の組成とその挙動、変化の理解には、分析的手法によるその定量的な取扱いが必要である。本授業では、化学平衡に基づく種々の分析化学反応、およびこれらを利用するいくつかの化学分析法について学習する。

【工学分野 応用物理学系】

番号	科目名	授業概要
122	物理学A(力学)	質点の運動を定量的に予測できるようになるために、運動状態を表す物理量と、それらの間に成り立つ関係式(運動方程式など)、運動方程式などから運動を予測する方法を学ぶ。様々な現象のモデルとなる摩擦や抵抗、振動などの例について、実際に運動方程式を解析的に解くことに取り組み、その数学的解法と運動の特性を身に付ける。また、力学的エネルギーと運動量の保存則について学び、解析的に運動方程式が解けない場合への応用方法を修得する。これらは物体の運動の理解、予測に不可欠の知識・手法であり、この後の各分野の学習・研究に必須の事項である。科学・工学の基礎であり、確実に身に付けることが必要である。 質点の運動状態を表す位置と速度の関係や、加速度との関係について、直線運動や円運動を例に確認したのち、運動の法則を解説し、摩擦や抵抗、振動などの具体例について実際に運動方程式を解析的に解き、その解法や運動の特徴を説明する。運動方程式から力学的エネルギーと運動量の保存則が導かれることを示し、解析的に解けない運動の予測に利用できることを示す。
123	物理学B(電磁気学)	静電場、静磁場および定常電流に関する基本事項・概念を理解し、数学的記述を行う。電磁気学の学習を通じて基本法則に基づいて物事を考える能力を身につける。自然現象に関する判断力をつけるのに必要な素養を身につける。
124	物理学C(波・光)	振動・波は力学、電磁気学、量子力学など物理学の広い分野で見られる基礎的な現象である。身近にあふれているこれらの現象を、数式を通して理解することが本授業の目的である。まずは振り子や、ばねにつながれた質点の運動からはじめ、連続体の振動、波動方程式、光を主眼とした波の干渉について学ぶ。光学の基礎として幾何光学についても触れる。
125	物性物理学 I	固体物理学の概念を学ぶ。 具体的には、結晶構造、固体中の電子の挙動、金属の特性の自由電子理論による取扱、結晶格子の熱的性質等を量子力学と統計力学を用いて理解する。超伝導、磁性、光物性にかんする入門的な講義もおこなう。 すでに学んだ力学、電磁気学、熱力学、統計力学、量子力学などの知識を総動員する。物理学を広い視野から眺める能力を身につける。 バンド理論、液体論、誘電体、超伝導及び磁性に関する詳しい講義は後期の物性物理学IIにて扱う。

【国際地域学分野】

番号	科目名	授業概要
126	日本語学概論	日本語の学習と教育に必要な日本語学の基礎的知識を学ぶ。日本語について、日本語学習者の日本語使用を参考にしながら、言語の普遍性と個別性を押さえつつ、日本語の特徴について考察する。この講義では、音声・音韻論、文字・表記、意味論、語用論、日本語文法、談話、社会言語学に関わる必要な言語理論の基礎について概説する。
127	日本文化の基礎	Tea Ceremony. Samurai. Hot Springs. Anime. Manga. What is Japanese Culture? In this course, students will look at different aspects of traditional Japanese culture – such as society, literature, art, language, and history – through a view of Japan both domestically and internationally. Students will engage in critical thinking discussions based on readings, lectures, videos, and their own thoughts and ideas about Japanese culture. Throughout the course, students will look at these traditional aspects of Japanese culture and try to understand and connect them to the modern culture of Japan.
128	統計入門	現代社会において最も重要なスキルの一つとなっている「数理・データサイエンス・AI」の基本について、各種の文献やデータサイエンス・AIに関わっている方々の視点、実際のデータを利用した演習を通して学んでいく。

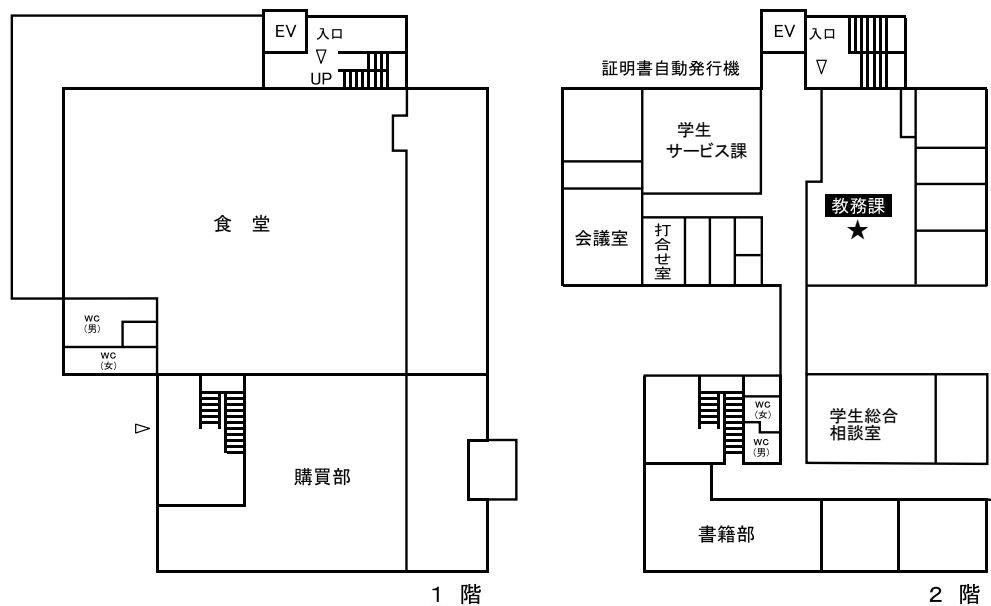
福井大学建物・講義室等配置図（文京キャンパス）

- ①正門
- ②総合研究棟Ⅴ（教育系1号館）
- ③共用講義棟
- ④総合研究棟Ⅵ（教育系3号館）
- ⑤総合教職開発本部
- ⑥北門
- ⑦通用門



- ⑧総合図書館/言語開発センター（LDC）
- ⑨学生交流センター
1F 国際課/グローバル人材育成研究センター/セーレン グローバルハブ
2F キャリア支援課/キャリアセンター
3F 入試課/アドミッションセンター
- ⑩生協（学生食堂/売店/書店）/2F学生総合相談室
- ⑪ATM（ゆうちょ銀行）
- ⑫掲示板
- ⑬学生支援センター（教務課/学生サービス課）
- ⑭課外活動共用棟
- ⑮保健管理センター
- ⑯総合研究棟Ⅲ-1（工学系1号館1号棟）
- ⑰総合研究棟Ⅲ-2（工学系1号館2号棟）
- ⑱総合研究棟Ⅲ-3（工学系1号館3号棟）
- ⑲総合研究棟Ⅳ-1（工学系2号館）
- ⑳総合研究棟Ⅳ-2（工学系実験棟）
- ㉑総合研究棟Ⅶ（工学系3号館）
- ㉒総合研究棟Ⅷ（工学系4号館）
- ㉓総合研究棟Ⅰ
- ㉔総合研究棟Ⅱ（遠赤外領域開発研究センター）
- ㉕産学官連携本部/地域創生推進本部
- ㉖東門
- ㉗超低温物性実験施設
- ㉘先端科学技術育成センター
- ㉙熱工学実験室
- ㉚第1体育館
- ㉛トレーニングルーム
- ㉜第2体育館
- ㉝アカデミーホール
- ㉞総合情報基盤センター
- ㉟多目的ホール
- ㊱本部棟/キャンパス便バス停
- ㊲オープンR&Dファシリティ
- ㊳経理課出納担当
- ㊴守衛所
- ㊵弓道場
- ㊶運動場
- ㊷屋外球技コート
- ㊸音楽棟
- ㊹外国人留学生宿舎「牧島ハウス」
- ㊺学生交流スペース「木立ちの広場」
- ㊻工学部 100 周年記念館

■⑬学生支援センター



★ 共通教育部（学生支援センター 2 階 教務課内）

●附属図書館を利用することが可能です。

開館時間 月～金 9：00～22：00（休業期間9：00～20：00（8月のみ17：00まで））
土日 13：00～16：00（休業期間は休館）

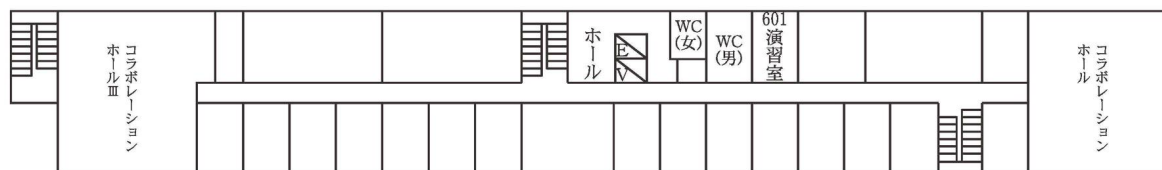
* 入館をはじめいろいろなサービスを受ける際、生涯学習市民開放プログラム受講証が必要ですので、常に携帯してください。

●食堂及び売店もご利用になれます（休業期間に営業時間に変更になる場合があります）。

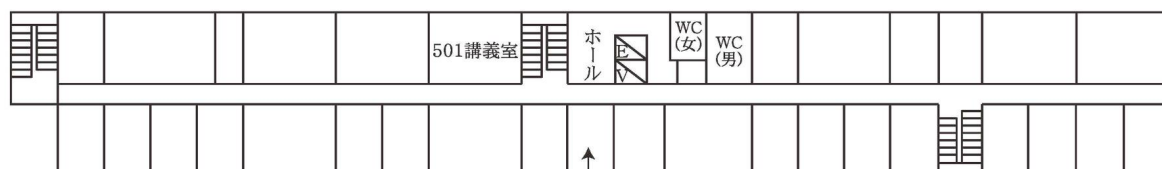
食堂 味菜 Ajisai 月～金 11：15～19：00（土日・祝日は休業）

売店 ショップ満天 月～金 8：15～19：00（土日・祝日は休業）
BookShop明日輪 月～金 10：00～15：00（土日・祝日は休業）

〔総合研究棟V〕 〔教育系1号館〕



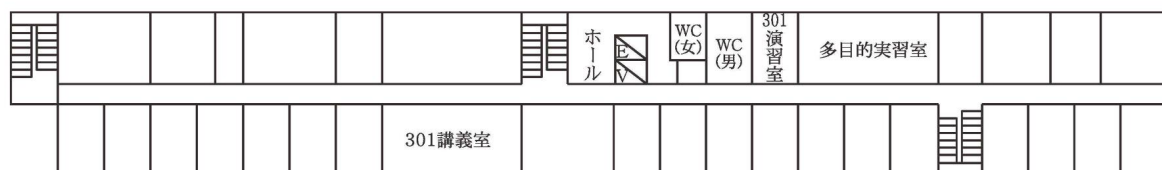
6 階



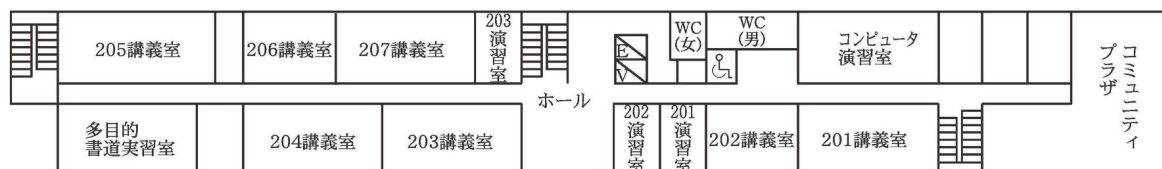
5 階



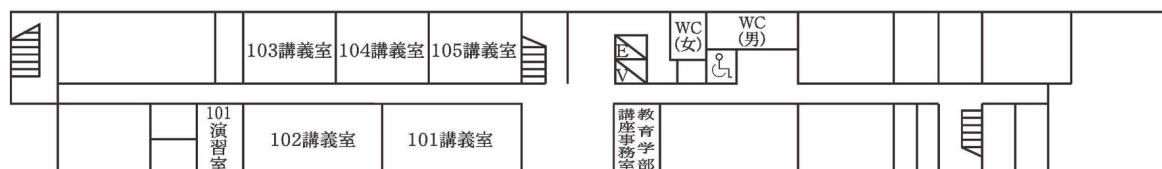
4 階



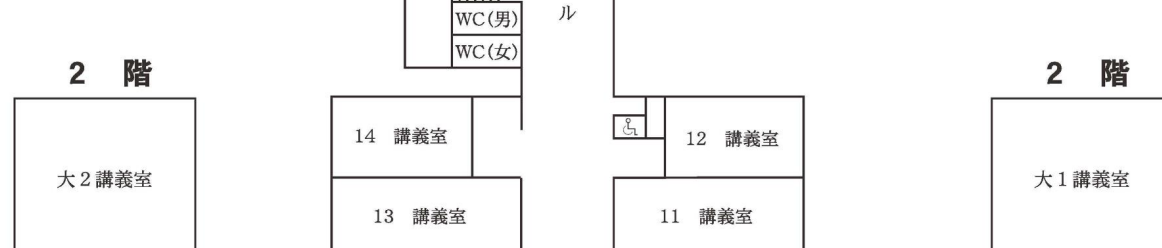
3 階



2 階



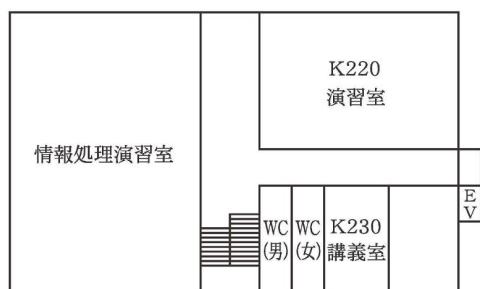
1 階



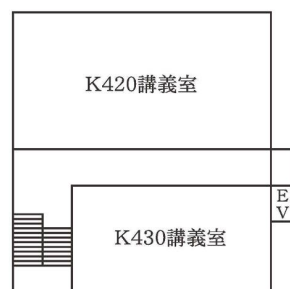
2 階

2 階

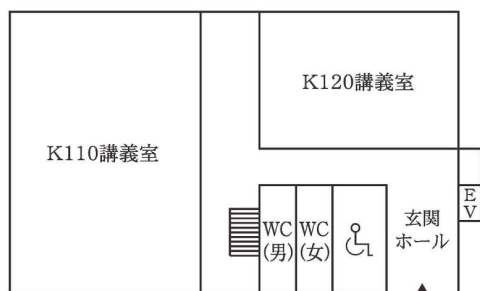
[共用講義棟]



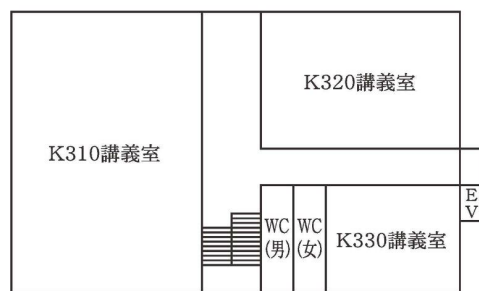
2 階



4 階

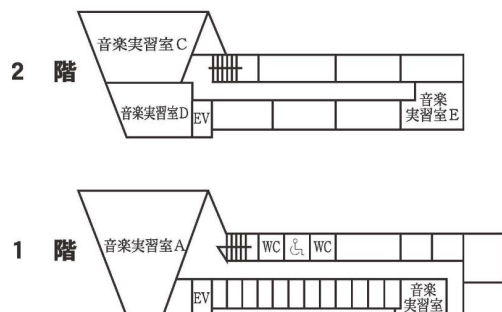


1 階



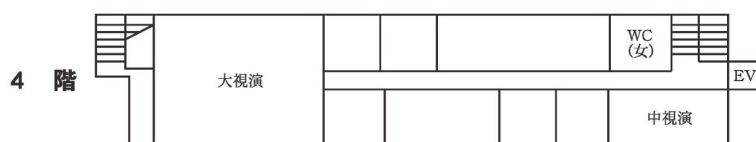
3 階

[総合研究棟VI (教育系3号館)]

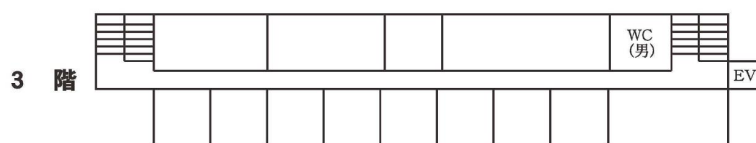


2 階

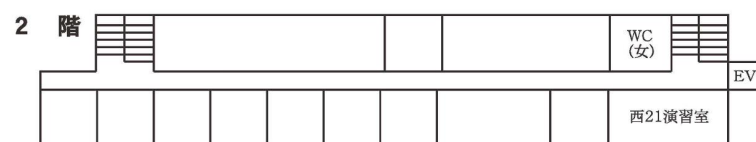
1 階



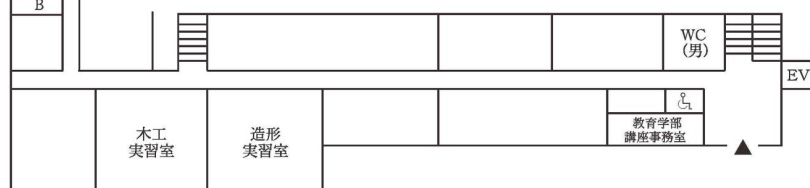
4 階



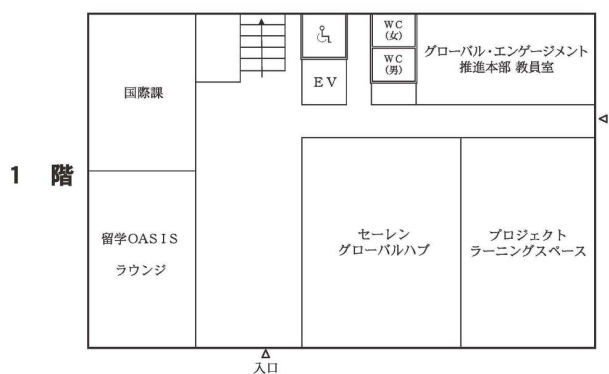
3 階



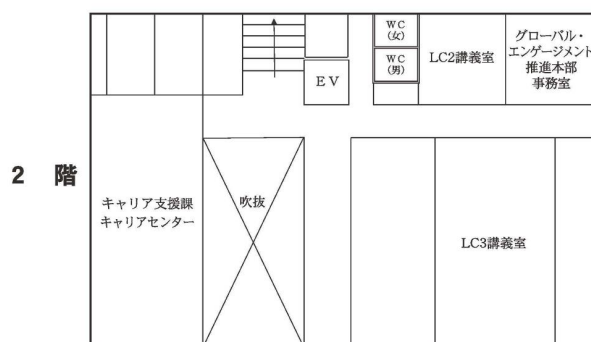
2 階



[学生交流センター]

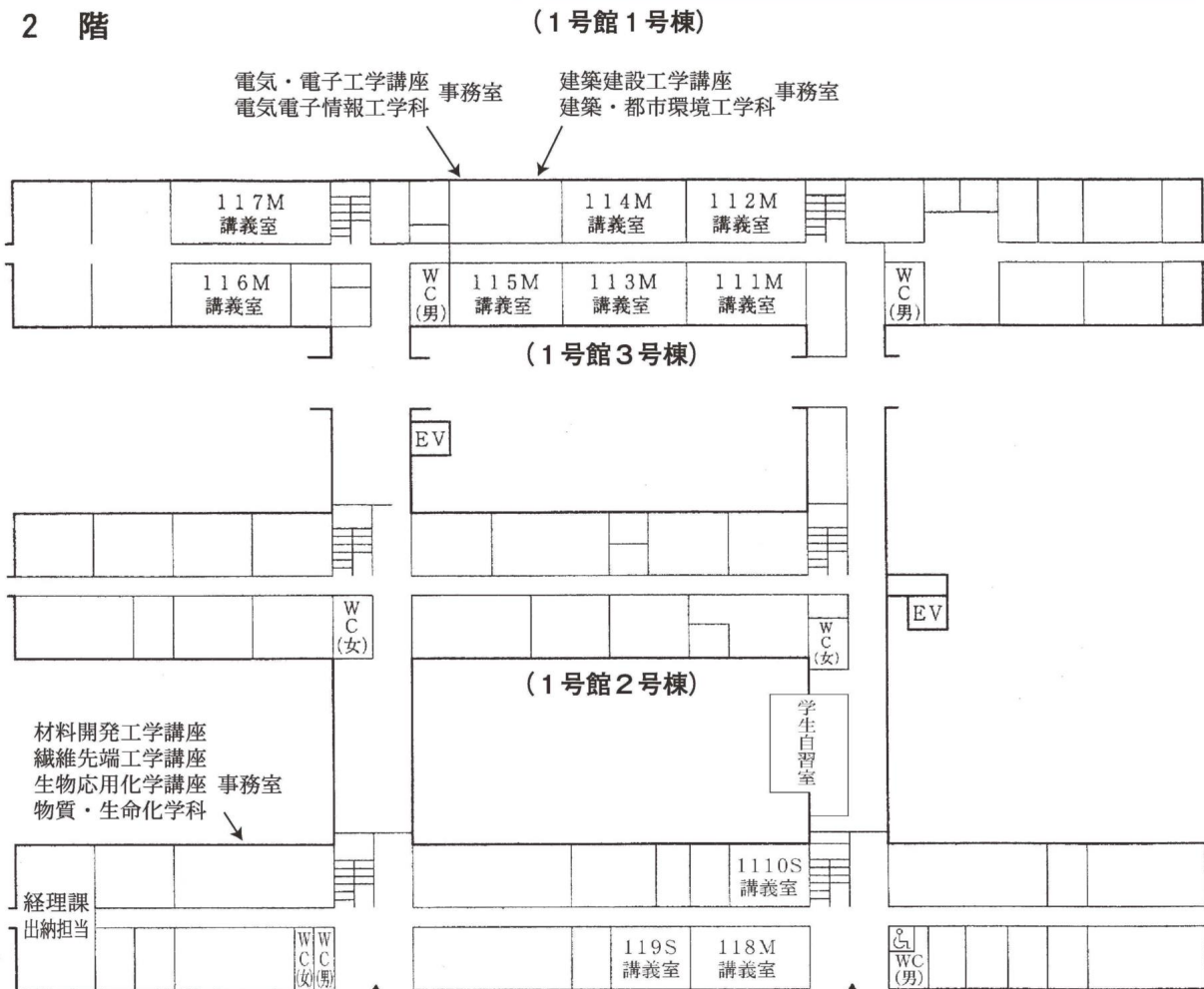
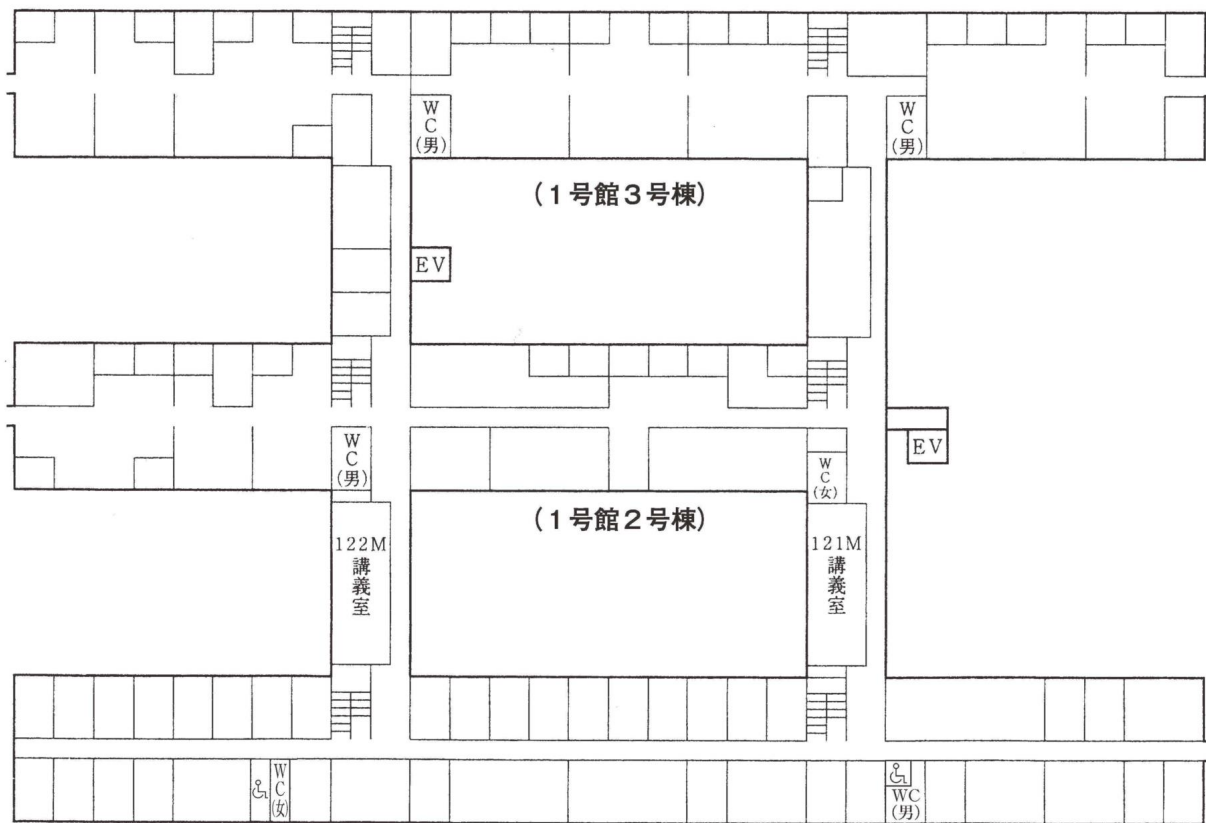


1 階

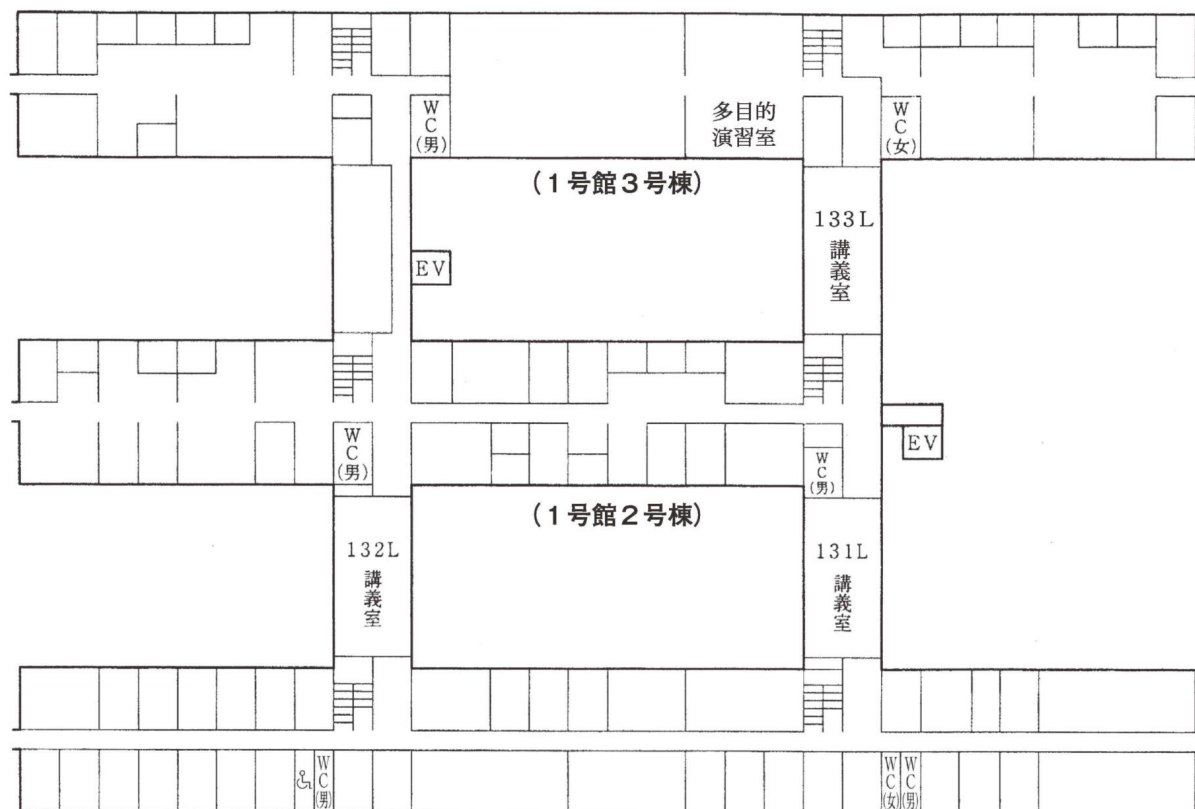


2 階

〔総合研究棟Ⅲ（1階・2階）
（工学系1号館）〕



〔総合研究棟Ⅲ(3階)
(工学系1号館)〕

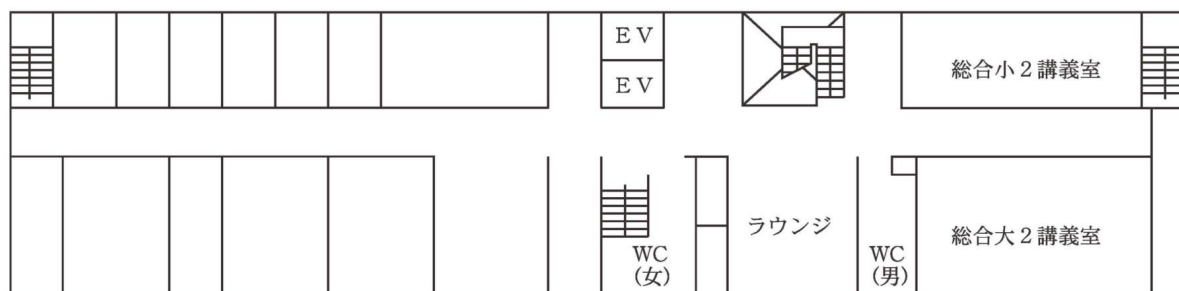


3 階

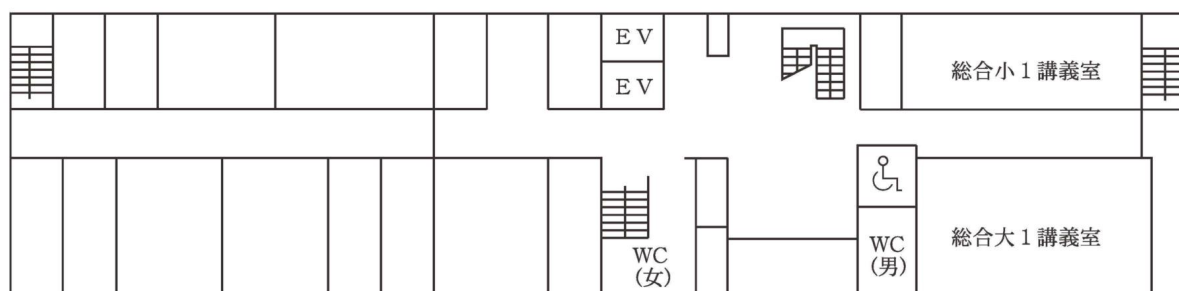
(1号館1号棟)

〔総合研究棟Ⅰ〕

3階: 理工学講座・応用物理学科事務室・ロボット工房 3階: 知能システム工学講座・機械・システム工学科事務室
7階: 理数教育演習室 8階: 物理大実験室
9階: 生物学実験室 10階: 理科カリキュラム開発実験室
11階: 地学大実験室 12階: 化学大実験室

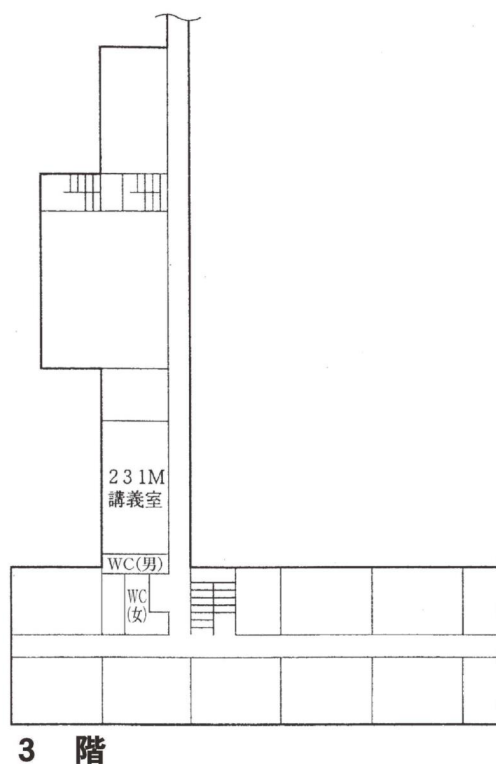
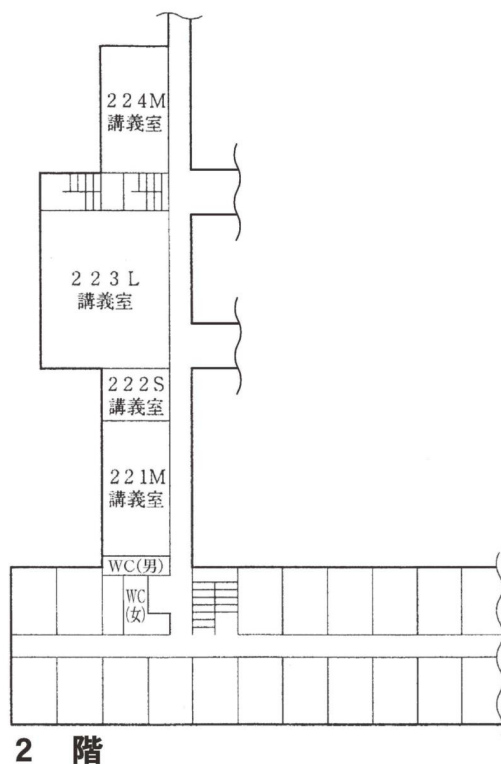


2 階



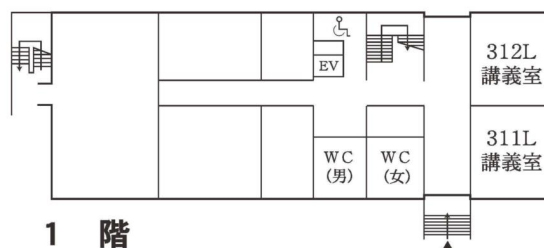
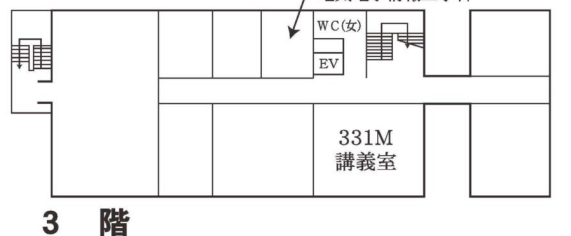
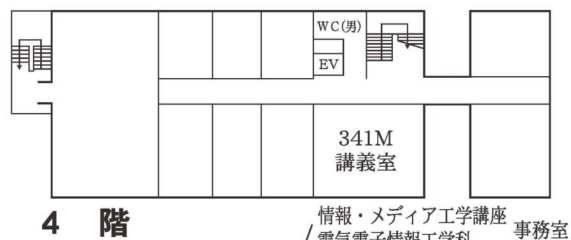
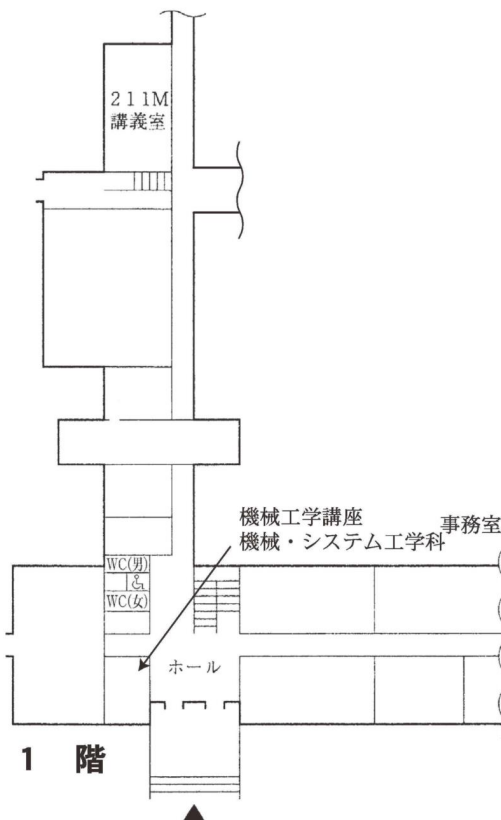
1 階

〔総合研究棟Ⅳ（1階・2階・3階）
（工学系2号館）〕



〔総合研究棟Ⅶ（1階・3階・4階）
（工学系3号館）〕

2階：計算機室



令和7年度 福井大学文京キャンパス授業日程

	日	月	火	水	木	金	土	事	項
4月			1	2	3	4	5	9日	前期授業開始
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
5月					1	2	3	7日○	火曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
6月	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
7月			1	2	3	4	5	19日☆	授業予備日
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
8月						1	2	7月30日～8月5日	前期試験期間
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31							6日～	夏季休業
実コマ数		15	15	17	17	16			
調整後		16	16	16	16	16			

授業期間

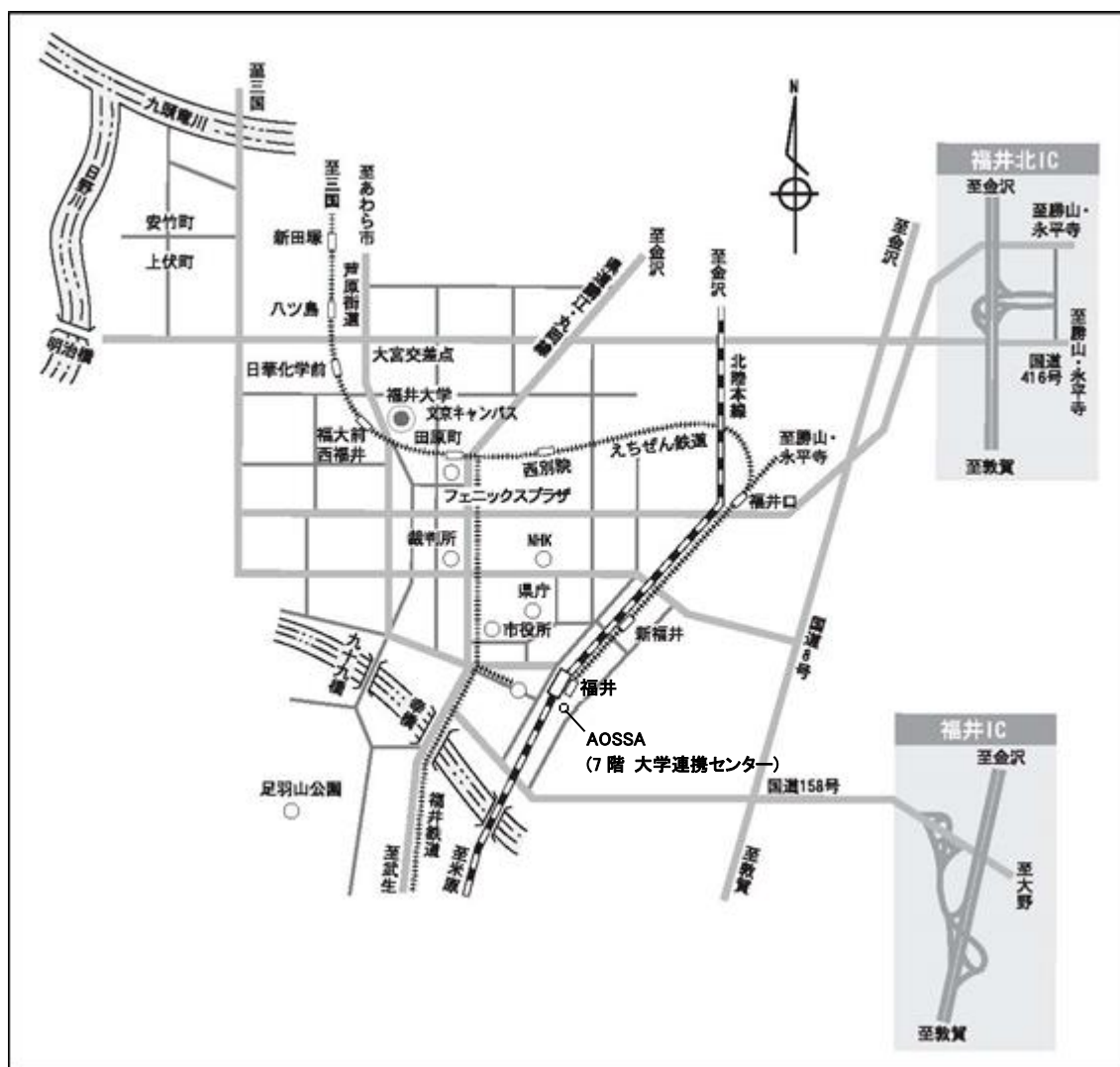
試験期間

□ は休講

○ は授業の振替日

☆ は授業の振替日

交通のご案内



本学（文京キャンパス）へのアクセス

- えちぜん鉄道／福井駅ー（約 10 分）ー福大前西福井駅
（えちぜん鉄道福井駅より三国芦原線に乗車） 福大前西福井駅から正門まで徒歩2分
- 福井鉄道／福井駅ー（約 10 分）ー田原町駅
（福井鉄道福井駅より福武線田原町方面行きに乗車） 田原町駅から東門まで徒歩7分、
またはえちぜん鉄道三国芦原線三国方面行きに乗り換え
- バス／京福バス福井駅ー（約 10 分）ー福井大学前停留所
（JR 福井駅西口バスターミナル2番のりばより乗車）
- タクシー／福井駅ー（約 10 分）ー福井大学文京キャンパス
（必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください）

こちらの用紙は、インターネットからも申請できます。

<https://forms.gle/VvrDrxNiFP7UoZpEA>



年 月 日

2025年度前期

福井大学共通教育部 生涯学習市民開放プログラム

受講希望調書

〒

住 所

(ふりがな)

氏 名

(男・女)

生年月日(西暦)

年 月 日生

電話番号

携帯番号

Eメール

市民開放プログラム受講歴(該当する箇所には○印) 有 ・ 無

福井大学共通教育部生涯学習市民開放プログラムの受講を下記の通り希望します。

記

【受講形態】

☐ フリーコース

☐ プログラムコース (コース名:)

該当するコースにチェックを入れてください。

【受講希望科目】

フリーコースの場合は「市民開放授業科目一覧」に記載の科目から受講を希望する科目を記入してください。

プログラムコースの場合は「市民開放授業科目一覧」に記載の受講を希望するプログラムの科目群の中から今学期に受講を希望する科目を記入してください。

※ この【受講希望調書】に記載された個人情報は、1. 休講等の諸連絡 2. 募集要項等の送付 3. 統計資料を作成する場合の目的以外には利用せず、適切に管理します。

裏面に希望科目等を記載してください。

1 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限

※ 複数の授業科目の受講を希望される方は、下記に記入してください。

※ 同じ時間帯に受講したい授業科目が複数ある場合は1科目しか受講できませんのでご注意ください。（オンデマンド型授業は除く）

2 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限
3 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限
4 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限
5 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限
6 科 目 目	授業番号	
	授業科目名	
	担当教員	
	開講曜日・時限	曜日 時限



福井大学生涯学習市民開放プログラム

受講生募集要項

—— 2025 年度 前期 ——